

●民族文化を生産し、流通・消費させる磁場としての様々な表象。その政治性と表象される側のせめぎあい、主体性が錯綜する「民族文化の今日」を読み解く。

民族表象のポリテクス

中国南部における人類学・歴史学的研究

塚田誠之編

民族表象は為政者によって操作され、歴代王朝の統治体制や国家統合の政治的文脈において民族政策の対象になってきた。民族の枠組み自体や、民族という器に盛り込むのにふさわしい民族文化が往々、政策によって創出され育成されてきたのである。

そもそも民族政策を担う各民族出身のエリートたちは中華人民共和国成立後の民族政策の実践の過程において誕生した。……各民族出身のエリートには、官僚のみならず学者や学校教師も含まれ、民族文化の育成・保護に重大な役割を果たしてきた。こうした民族出身のエリートが、国家から地方に至る各レベルの政治権力、ローカルな地域社会や民族集団内部における重層的な権力関係にどのように関わり、どのように民族表象を選択あるいは再解釈してきたかが問題なのである。

対外開放政策の実施以降、観光が急速な展開をとげてきた。……こうした動きのなかで表象行為が多様化し、地方政府の観光キャンペーンや民族文化の再編の政策も関わって、様々な政治的駆け引きや交渉が展開されている。観光開発の発展につれて当該民族出身のエリートや知識人の役割はますます重要になっている。

第二の問題として、表象の現場において複数の表象主体が介在し、それらのせめぎあいが見られる点である。観光地では、地方政府、観光業者、一般の村人など、多様な表象主体が競合し、表象する側・される側に二分することがもはや不可能な状況にある。それほど表象生産の担い手や主体間の関係は今や錯綜しているのである。……したがって、錯綜した関係を解きほぐし表象をめぐるせめぎあいの実態を解明することが、表象のポリテクスの把握には不可欠なのである。

本書の狙いは、これらの問題点に留意しながら、文字、記録、歴史人物、施設、民族文化の象徴的なエスニック・シンボルなど多様な表象形態を広く対象として検討し、民族表象のポリテクスを解明することにある。

(まえがきより)

序文 塚田誠之

第一部 文字・記録と表象

貴州におけるミャオ文字の創作とバイリンガル教育曾士才
ベトナムにおける前近代タイイ民族史研究について 檜永真
佐夫

左夫

県級「民族誌」における民族表象——広西・三江トン族自治
県の事例から 兼重 努

ハニ語と中国語の間——ハニ語の中国語訳における知識人
による表象の政治経済 稲村 務

第二部 歴史と表象

海南島における洗夫人とその信仰をめぐる表象と変遷 塚田
誠之

誠之

清末雲南タイ系土司の近代化ヴィジョン——刀安仁とその
周辺 周辺

韶山の聖地化と毛沢東表象

南雄珠璣巷をめぐる広東ローカリズムと中華ナショナリズム
ム 韓 敏
瀬川昌久

第三部 エスニック・シンボルと表象

槃瓠神話の創造?——タイ北部のユーミエン(ヤオ)にお
けるエスニック・シンボルの生成 吉野 晃

ナムイ・チベット族の選択——集落の解体と山の神祭りと
いう民族表象 松岡正子

表象の中の地域と民族——徳宏タイ族の水かけ祭りをめぐ
るポリテクス 長谷千代子

都市のなかの民族表象——西双版纳、景洪市における「文化」
の政治学 長谷川 清

あとがき・索引

体裁

・A5判・並製・函入り
・四四〇頁

定価

・六三〇〇円
(本体六〇〇〇円)

注 文 書

流通センター
取扱品

出版
地方

発売
風響社 TEL: 03-3828-9249

税込み
六三〇〇円

部

塚田誠之編

民族表象のポリテクス

中国南部における人類学・歴史学的研究

ISBN978-4-89489-124-1 C3039 ¥6000E

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九
電話〇三(三八二八)九二四九
http://www.fukyo.co.jp

〔お客様控え〕

ご氏名
ご住所

お電話

月 日